

国際哲学オリンピックに参加しました

高校3年生のM. K. さんが、国際哲学オリンピックに参加してきました。

毎年5月に実施される高校生の哲学エッセー・コンテストで、今年は25日から28日までオランダのロッテルダムで行われました。参加には2つの国内予選通過が必要で、それぞれ日本語と英語でエッセーを書きます。M. K. さんは国内選考会でグランプリを受賞しています。

現地では他国からの参加者と3人1組でホテルに滞在し、開会式、エッセー執筆、グループでの話し合い、市内観光、表彰式などのプログラムを楽しんできました。エッセーは第一言語以外の言葉で執筆せねばならず、M. K. さんが選んだのは、デマゴグに扇動される人々についてのトピックでした。

M. K. さんは、参加者が予想以上に博学であることに驚き、自分にももっと知識が必要だと痛感したと話してくれました。答えの出ない哲学的な問題に関して考察し、筋道を立てて意見を述べるには、付焼刃の学習では不十分です。出場者のなかには、医者を目指している人、兵役を控えている人などもいたそうです。哲学に造詣が深いといっても全く内向的ではなく、視野を広く持ち、物事を深く考える姿勢を持つ参加者たちと交流し、得難い経験をして帰ってきてくれました。

